もりドラ

市民モデル申し込み方法

申し込みなどの詳しい内容は、市ホームページ(QRコード)をご覧ください。
問広報広聴課
TEL06−6992−1353

平成12年12月より市の無形民俗文化財の第1号として指定されている「寺方提灯踊り」。古くから代々伝わる郷土芸能を皆さんに知ってもらい、広めていくため、市民モデルのＫｏｔａさんが寺方提灯踊りに参加しました。

メイク前

メイク中

完成

ヘアメイク担当
岡翔斗さん

メイク担当
冨山梨菜さん

今回の市民モデルは、市内にお住まいのＫｏｔａさん。

技術提供：Ｌｏｖｅ&Ｈａｉｒ　Ｄｉｖｅ
(ラブアンドヘアーダイブ)(竜田通)

協力美容院も募集

市民モデル事業の趣旨に賛同し、市民のメイク･ヘアメイクを無償で提供していただける美容院を募集しています。

市民の皆さんが日常から非日常へと変貌していただくためのきっかけのお手伝いをしていただけませんか。

お店のホームページ

市民モデルになりませんか

モデルにはスタイリストによるメイク･ヘアメイクを受けていただきます。

いつもと違う姿に変身して、私たちと一緒に守口の魅力を発見しませんか。

市民モデルには自身のＳＮＳアカウントから取材の様子を発信していただきます。

Ｋｏｔａさんの感想

寺方提灯踊りは毎年見に来ていましたが、踊りを真剣に学んだのは初めてでした。手のひらを返す部分が難しかったけれど、おもしろかったです。自分のおばあちゃんと一緒に踊れたことや、本当のモデルのように格好良くセットしてもらい、写真を撮ってもらったことは貴重な経験になりました。皆さんが元気に踊っている姿を見て、自分も元気をもらえました。

次回からは友達も誘って、若い世代の人たちにも寺方提灯踊りを知ってほしいです。

次の世代へ伝える寺方提灯踊り

市の旧南寺方地区に代々伝わる地域的特色を示す貴重な郷土芸能で、その踊りは「一子相伝」と言い伝えられ、秘伝伝授とされていました。一説には、当時、排水の便が悪く農作被害を防ごうと幕府の許可なく、覚悟の上で「樋」を築き、処刑された庄屋喜左衛門(しょうやきざえもん)の遺徳をしのび、その報恩と霊を弔うために踊られていたとも伝えられており、江戸時代の文化･文政の頃には既に踊られていたと文献に記されています。

音頭は私がとっています！

寺方提灯踊保存会会長
川辺治延さん

私は20代の頃から寺方提灯踊りに携わってきました。今では講習会で踊りを指導する立場になり、たくさんの人に踊りを教えてきました。でも今は、保存会の会員が減ってきていて、踊りの伝承も難しくなりつつあります。誰でも参加できるので、１人でも多くの人に会員になってほしいです。

上手くなるコツは、練習あるのみ！

寺方提灯踊り指導者
安原千須子さん

寺方提灯踊りを20年以上指導しています。この提灯踊りは独特な振りやポーズが特徴的ですが、ゆっくりなテンポにあわせて踊るところに味があると思っています。子どもたちにも踊りを好きになってもらって、大きくなっても踊ってくれたら嬉しいです。

7/8 Sun. 踊りの講習会

踊りの本番を迎える前に、寺方南小学校で行われた寺方提灯踊りの練習に参加し、踊り方やポーズなどを学びました。Ｋｏｔａさんを指導してくれたのは、なんとＫｏｔａさんの実のおばあちゃん。

7/16 Mon. そして本番

当日はたくさんの人で賑わい、暑い中踊り子の皆さんは、汗をにじませながら音頭に合わせて楽しそうに踊っていました。Ｋｏｔａさんも練習の甲斐あって、会場の皆さんと一緒に踊ることができました。